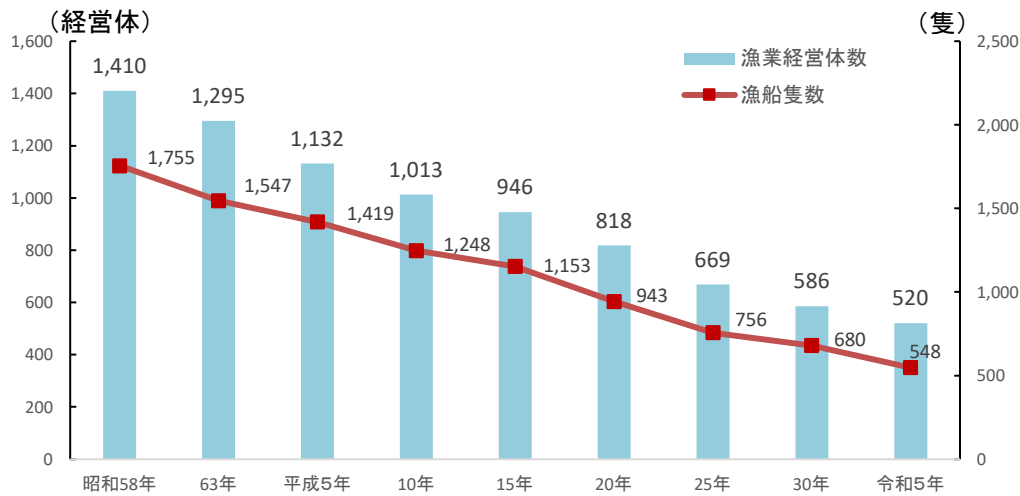


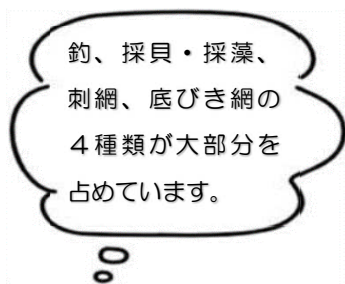
2023年漁業センサス(確報)からみた鳥取県の漁業

漁業経営体数と漁船隻数の推移

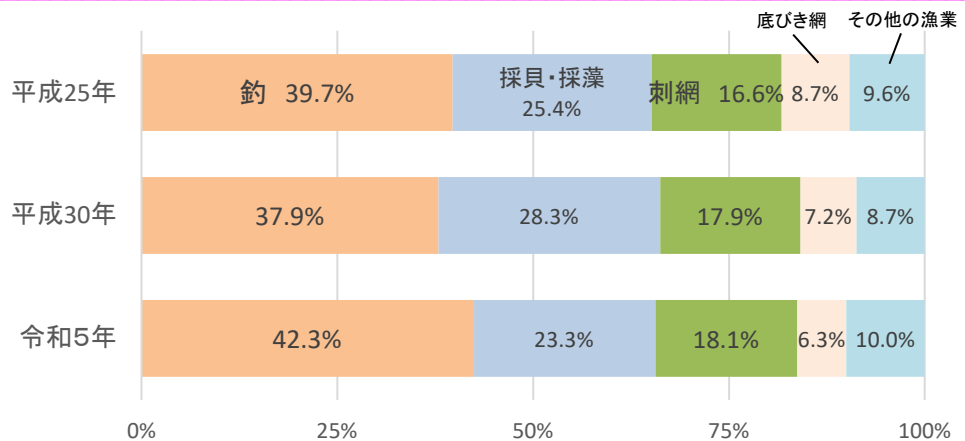


漁業経営体数と漁船隻数のどちらも、一貫して減少しています。昭和58年と令和5年を比較すると、漁業経営体数と漁船隻数のどちらも約3分の1となっています。

主とする漁業種類による経営体数の内訳

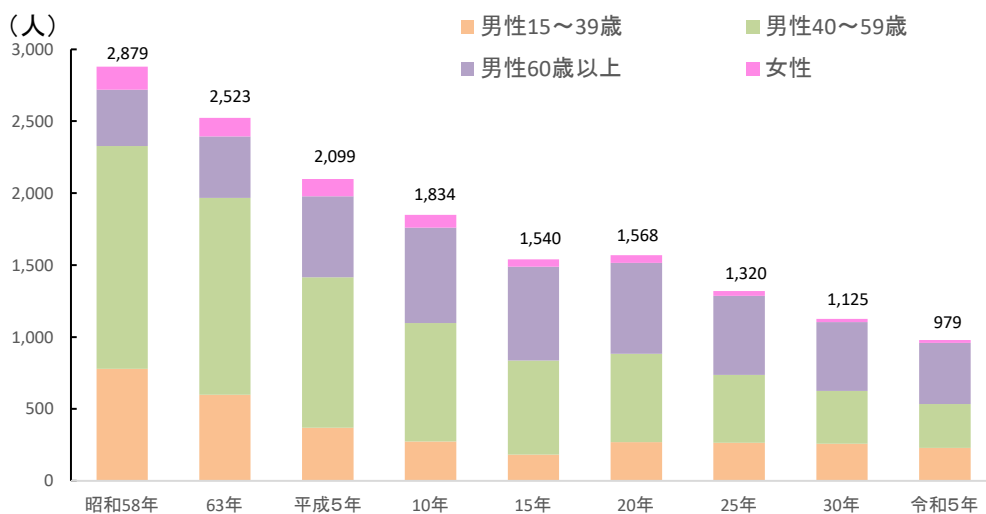


トリピー



※販売金額の多い漁業種類によって経営体を分類したときの割合

漁業就業者の推移



漁業就業者数は、ほぼ一貫して減少しています。昭和58年と令和5年を比較すると、総数は約3分の1となっています。令和5年の内訳を見ると、60歳以上の男性の割合が全体の43.5%と一番大きくなっています。

※令和5年11月1日現在

※漁業センサスとは、漁業の生産構造や就業構造を明らかにし、漁村、流通・加工業等、漁業をとりまく実態と変化を総合的に把握するため、水産業を営んでいる全ての世帯や法人を対象に5年ごとに行われています。